

だいち通信 VOL.66

〒080-0016 帯広市西6条南6丁目3番地ソネビル2F TEL (0155)-24-8989 FAX(0155)-20-7367
E-mail shien-daichi@ymail.plala.or.jp URL http://www.keisei-kai.jp/daichi/



新年度あいさつ

新型コロナウイルス感染症は、2年を超えた今でも見えざる不安として我々の生活に影響を及ぼしています。十勝管内においても、直近の新規感染者数の推移は依然として高止まりが続いている状況です。当センターの活動もコロナウイルスとそれなりのお付き合いをしながら進めております。少し大げさですが、世界全体が「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」へと歩みを止めずに進んでいくプロセスと同様に、我々「だいち」のスタッフも折れそうな心を奮い立たせながら、今地域にとって何が必要なのかをスタッフ一同自問自答しながら取り組みを進めて来ました。

今年度当センターが掲げる活動のコンセプトは「再構成」です。二年前に「再構築」をスローガンに掲げ、コロナ禍における地域の実情を把握してきました。昨年度はそれらの情報や地域の実情を皆様と再度共有し、あらためて「地域づくり」について考え、問いかけて来ました。課題は山積みですが、今年度は今ある「制度」「活動」「人」「物」「資源」等々を関係機関の皆様とともに再度見つめ直し、よりふさわしい取り組みへと再構成していく事を目指します。

皆様と共に少しでも地域課題を共有し解消する手段を見出しながら、障がいをお持ちの方がその人らしく暮らしていける地域を目指して、微力ではありますが活動を継続して参ります。今年度も引き続きよろしくお願ひ致します。

センター長 新明 雅之

<2022年度 スタッフ体制>

センター長	新明 雅之	主任職場定着支援担当者配置
地域就労支援係長	佐藤 尚美	主任就業支援担当者配置
就業支援担当者	谷野 朱莉	法人内相談支援事業所兼務
	後藤 友美	訪問型職場適応援助者（JC）兼務
	荻原 卓也	
生活支援担当者	福山 雫	
	増田 明香	法人内相談支援事業所兼務
	石原 克枝	法人内就労移行支援より異動

令和3年度研修報告

感染対策のため、約半数がリモート開催となりました。コミュニケーションの取りづらさが課題となしながらも、参加に対する時間などの制限が緩和されるという利点もあった1年でした。

令和3年度 実績報告

～毎年、厚生労働省と北海道に報告している年間の実績数をお知らせします～

昨年度は相談者へ制度やサービスなどの情報提供にとどまったケースや他機関へのつなぎが多かったことから、新規登録者が前年度よりも低下しました。昨年度新たに開始した企業提案型実習「プロジェクトスタイル」の効果もあり、実習あっせん件数が増えた年となりました。また、地域ニーズが高まった職場適応援助者の稼働にも力を入れたこともあり、地域障がい者職業センターへの依頼も増加した1年でした。

支援対象登録者数	身体	知的	精神	その他	合計
	13 (1)	240 (46)	146 (21)	63 (16)	462 (84)
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	46 (11)	1 (1)	6 (3)	10 (1)	

○の値は 新規利用者の内訳です。

相談支援件数	身体	知的	精神	その他	合計
	87	3,876	3,724	1,092	8,779
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	890	46	67	89	

就職件数	身体	知的	精神	その他	合計
	0	27	21	7	55
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	3	0	1	0	

職場実習 斡旋件数	身体	知的	精神	その他	合計
	0	57	28	7	92
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	7	0	0	0	

利用者毎の支援計画の作成件数					
	身体	知的	精神	その他	合計
個別支援計画	1	29	24	13	67
独自計画	0	9	12	4	25
合計	1	38	36	17	92

一般就労に向けたアセスメント実施件数					
	身体	知的	精神	その他	合計
	1	41	24	6	72

地域障がい者職業センター職業評価依頼件数					
	身体	知的	精神	その他	合計
	1	17	6	19	43

併設施設は提携施設における基礎訓練の実施状況					
	身体	知的	精神	その他	合計
	0	6	2	2	10

R3年度の法定雇用率2.3%の引き上げに伴い、十勝管内企業からの雇用相談の多い年でもありました。地域における、実習数の増加の次の段階として、就職へのステップアップにつながる支援と、福祉サービスからの就職後に利用者が充足する双方への働きかけが必要と感ずります。

今年度の研修ラインナップ

当センターでは、地域課題を検討しつつ、当事者・企業・関係者への波及効果を大切に、研修を企画しております。今年度は、在職者研修を就職後の企業支援の一環としてパッケージ化することで、就労支援事業所や特別支援校などの就職者を送り出す側の機関にも周知しやすい体制づくりを行いました。研修案内を同封しておりますので、地域の資源としてご活用ください。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
障がい当事者研修	社会人研修			7日 15:00	社会人スキルアップ研修				29日 15:00	フォローアップ研修			
	課題別研修		ストレスコントロール研修			26日 15:00			感情コントロール研修			22日 15:00	
	小グループ活動	SST・グループワークなどの小グループ活動											
	ピアサポート研修 (Caféスタイル)	毎月第3土曜日 (13:00～17:00) スタッフが在中しての在職者の為の余暇活動の場を提供											
障がい当事者対象	求職者対象 就労準備研修	十勝管内の障がい者雇用への働きかけを強化するため、各種研修や団体と連携して企画を行います			仕事の魅力発見フェス・実習・面接会の活動を通して求職者への働きかけを行います								
	企業研修	企業に対する雇用相談・企業内の障がい者雇用に関する研修会を行います											
	雇用促進・就労定着プロジェクト				フェス		面接会	フェア	企業に対する雇用相談・実習の受け入れを・障がい者雇用に関する周知活動を随時行います				
関係機関対象	地域就労支援連絡会・帯広市自立支援協議会 就労社会活動部会	年2回開催 (8月・2月ごろを予定)											
	就労移行事業所連絡会	特にA型・B型事業所スタッフの学びの場の提供や、就労支援のノウハウを個別にお伝えできる機会を作ります											
	就労支援担当者 スキルアップ研修	支援員のスキル向上のため、基礎研修・リーダースタッフ研修を予定しています											
	行政福祉担当者研修	ネットワーク会議参加などで地域事情の確認を行います	地域課題の確認・検討	行政担当者研修 (情報交換)	地域事情に合わせたネットワークセミナーを開催								
障がい者就労支援ネットワーク セミナー (移動相談会)	ネットワーク会議などでの周知と各町村から上がった相談を移動相談につなげていきます (随時)												

今年度のテーマとなる「再構成」は、今ある地域資源を有効に活用しながら新たな仕組みを作ることも一つの目標です。各種会議や研修などが充実してきたからこそ、その意味を改めて確認するとともに、今の状況に合った方法で見直しをかける時期に来ているとも感じています。その為にも、地域の皆さんとの連携や課題の共有が大切です。地域の障がい者雇用の基幹センターとして我々が機能できるよう、個別のニーズを通じた企業支援・機関支援の視点を大切に活動して参ります。よろしくお願ひ致します。

	研修名	対象者	時期	内容
障がい当事者対象	社会人基礎研修	入社間もない方 基礎を確認したい方	リモート2回 集合1回	・第1回目…6月7日 (30名参加) 「社会人としてのマナーを再確認しよう～あなたは大丈夫? 社会人としての自覚と行動～」 ・第2回目:11月25日、12月3日 (19名参加) 「職場内でのコミュニケーション～関わり方や伝え方について学び合おう!!～」
	課題別研修	興味のある方なら誰でも	集合3回	・第1回目:8月27日、9月7日、10月5日…18名参加 「生活していくために必要な“お金のやりくり”について考えよう」 ※第2回目については、コロナの感染拡大状況により中止
	スキルアップ研修	基礎を理解している方	働く大人のしゃべり場に 振替	在職者の悩みや課題に応じて『Caféスタイル』にて意見交換会を実施
	働く大人のしゃべり場	働く当事者	集合4回	・働く大人のための意見交換会『Caféスタイル』…(のべ18名) 感染予防を徹底し、在職者が仕事終わりに集まり交流出来る場を設けた。余暇的な意味合いだけでなく、働く上でのスキルアップにつながる気づきや刺激を受ける機会もなった
企業対象	ピアサポート研修	求職者	リモート1回	・社会人基礎研修への参加の促し…(就労系福祉サービス利用者 18名参加) 求職者が在職者の様子を見て、刺激を受ける機会となった
	就労準備研修	求職者	集合1回	・仕事の魅力発見フェス…12月17日 (101名参加) 集合型で就労系福祉サービスを利用する方を対象に、企業説明や仕事の体験会を実施
	在職者向け研修	企業担当者 障がい当事者	計11回実施	※企業の代表として参加していただく方法を取っているため、企業担当者にも参加していただく工夫をしている
関係機関対象	企業プロジェクト	企業担当者	学習会5回 計13回実施	4本の柱を軸に方針を立て活動を実施。①情報発信…仕事の魅力発見フェス、プロジェクトスタイル(15名・延べ20名参加) ②教育…テーマ別学習会(計5回実施) ③提言…福祉との意見交換会(1月13日:37名参加) ④組織拡大…3社の新規参加
	帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会 及び 地域就労支援連絡協議会		リモート2回	・9月3日…(85名参加) 帯広市内・市外それぞれの就労系福祉サービス事業所のアンケート調査結果から見てくる現状や課題について、帯広市・当センターより報告 ・2月22日…(78名参加)第1部に障がい者雇用に向けた帯広市と当センターの活動報告、地域課題を踏まえた就労支援体制に対する考え、第2部に「就労支援のプロセス」の各段階をテーマに、「福祉」「企業」「行政」「教育」「医療」それぞれの現場の状況や課題の意見交換を実施
	就労支援担当者 スキルアップ研修	就労支援に携わる方	6回開催 (集合・リモート)	・就労移行支援連絡会…今年度は月1回開催とし、事業所間の情報共有会を実施。また、事業所の活動について見学会も2回行った ・グローアップ研修…8月25日 (ハイブリッド研修…会場25名、リモート52名 計77名参加) 就労支援のプロセスに関する講義と企業との関わりに関するケーススタディを実施 ・就労支援スキルアップ研修…12月21日 (27名参加)十勝管内の就労系福祉サービス事業所の職員を対象に、事例検討と就労支援の日頃の悩みや取り組みについて意見交換を実施
	障がい者就労支援 ネットワークセミナー		1回実施	・福祉行政担当者研修…12月8日 (26名参加)十勝管内の19市町村の行政福祉担当者の皆さんに参加いただき、各市町村の取り組みや課題、今後の展開について意見交換会を実施 ・移動相談の実施…町村から依頼を受け、各地域へ訪問し就労相談を実施 (27件)